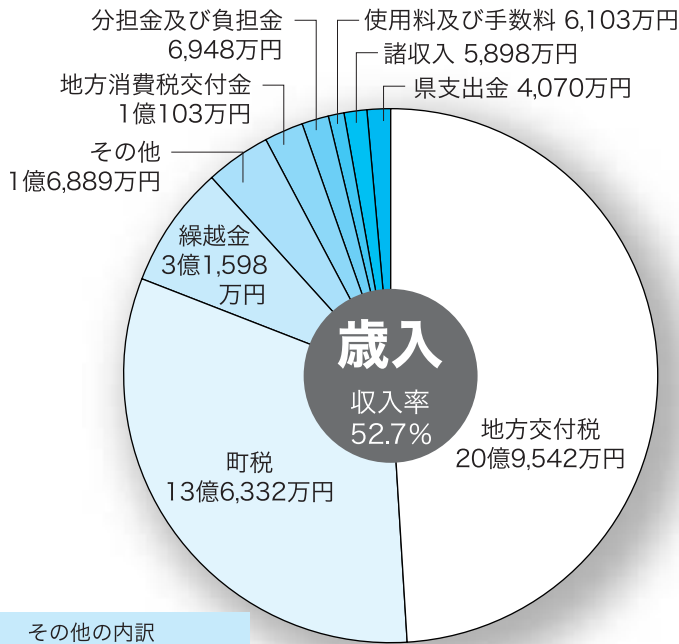


町の財政状況を公表します

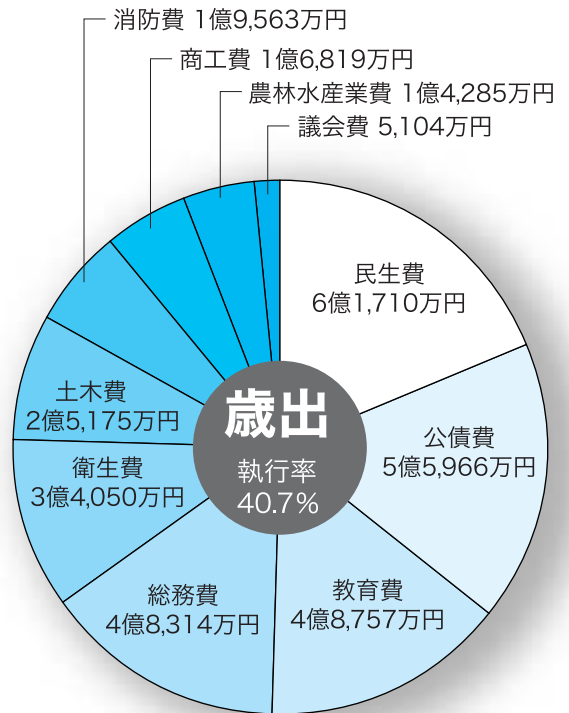
(平成20年度上半期分)

一般会計予算額 81億941万円

平成20年度上半期予算(平成20年9月30日現在)の執行状況をお知らせします。
この公表は町民の皆さまに町の財政についてご理解いただき、町づくりにご協力いただくため、皆さまが納めた税金や国・県などから交付された補助金、地方交付税などの収入、あるいは支出の状況をお知らせするものです。



歳入総額
42億7,483万円



歳出総額
32億9,743万円

その他の内訳

地方譲与税	3,628万円
ゴルフ場利用税交付金	2,967万円
財産収入	2,543万円
自動車取得税交付金	2,227万円
国庫支出金	1,936万円
地方特例交付金	1,645万円
町債	1,120万円
利子割交付金	303万円
寄付金	273万円
配当割交付金	133万円
交通安全対策特別交付金	114万円

特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	20億6,220万円	8億1,894万円	39.7%	8億6,769万円	42.1%
老人保健事業	1億6,950万円	1億8,298万円	108.0%	1億5,286万円	90.2%
後期高齢者医療	1億7,550万円	4,945万円	28.2%	4,456万円	25.4%
介護保険事業	11億3,424万円	4億8,009万円	42.3%	4億4,833万円	39.5%
下水道事業	3億1,700万円	1億5,497万円	48.9%	1億2,308万円	38.8%
農業集落排水事業	4,700万円	2,750万円	58.5%	1,954万円	41.6%
簡易水道事業	1億6,920万円	9,376万円	55.4%	6,518万円	38.5%
ケーブルテレビ事業	17億2,700万円	1億4,091万円	8.2%	9,604万円	5.6%
合計	58億164万円	19億4,860万円	33.6%	18億1,728万円	31.3%

特別会計の事業内容

病院で診療を受けたとき、医療費の一部(7割)を国民健康保険特別会計で負担しています。

老人保健制度から後期高齢者医療制度への制度改正により、75歳以上を対象に健康の保持と適切な医療の確保のため、医療費の負担や保険料の徴収を行います。

高齢化の進展に伴い、寝たきりや痴呆等の増加に対して、国民全体で公平に支えあう制度です。デイサービスやホームヘルプサービスなどの在宅で受けるものや施設で受けるサービスを行います。

生活環境を改善するため、市街地や住宅密集地の河川の水質保全など、下水の集合処理を行います。

農業用排水の水質保全と生活環境の改善を目的に特定地域の下水の集合処理を行います。

水道水の安定的な供給を行います。

ケーブルテレビの運営及び高度化事業の整備を行います。

平成19年度行財政改革の効果

人件費圧縮などで2億7千万円

当町では、新しい地方自治の確立と健全な財政運営ができる「小さな行政」を実現するため、行財政改革大綱（平成17年度～平成22年度）及び行財政改革推進計画（平成18年度～平成22年度）を策定し、行財政改革に取り組んでいます。

革の効果は目標額約3億2、800万円に対し、実質額2億7、100万円となり、達成率は82・6%でした。

平成19年度の取り組みにおいては人件費の見直しで、特別職報酬の10%カット、職員定員適正化により計画の7人を大幅に上回る24人が退職し、総体的な人件費の抑制に努めました。

内訳は人件費の見直しで、職員の退職手当負担金が退職者の増により、約7、800万円増額したことから目標を下回る約6、500万円の結果となりましたが、施設の統廃合等で約1、200万円、事務事業の見直しで約1億7、000万円、補助金等の見直しで約1、600万円、収納率向上対策の強化によって約800万円の効果がありません。

施設については小・中学校の統廃合や使用されていない施設の廃止に取り組むとともに、事務事業については22事務事業の見直しを行いました。

また、補助金等については85補助事業と13交付金を対象に見直しを行いました。その他、協働のまちづくりの調査研究や収納率向上対策の強化にも意欲的に取り組んできました。

これらの取り組みによる改

問い合わせ

企画財政課企画調整係

☎0287 - 92 - 1114

ホームページアドレス

<http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp>

財政効果

単位：千円

財政効果対象項目	平成19年度財政効果		
	目標効果額	実質効果額	達成率
1．人件費の見直し	157,327	65,494	41.6%
2．施設の統廃合等	15,762	12,346	78.3%
3．事務事業の見直し	137,720	169,025	122.7%
4．補助金等の見直し	17,937	16,680	93.0%
5．その他	-	7,923	-
計	328,746	271,468	82.6%

実質効果額は、平成18年度予算を基準に節減する額を目標効果額として、取り組みによりどれだけの実質的な効果があったかを示したものです。

国道293号後沢工区開通のお知らせ

平成13年度から進めてきた国道293号志鳥バイパスの後沢工区の工事が順調に進み、見通しの良い安全な道路として整備され、去る10月31日に開通しました。

なお、今回はバイパスの一部開通のため開通式は実施せず、来年1月末に全工区のバイパスが開通の見込みであり、これに合わせ開通式を実施する予定です。

問い合わせ 建設課 ☎0287・92・1118

